

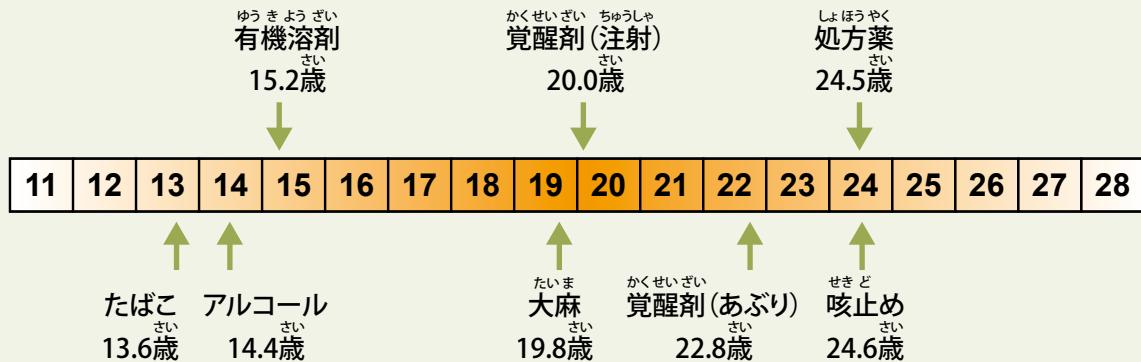
## 依存性薬物の開始年齢

薬物を使用してしまった人々を対象に初めて薬物を使った年齢を聞いた調査によると、下の図のように、薬物の種類によって差はありますが、10代の時にすでに有機溶剤や大麻の使用が始まっているという結果が出ています。

また、覚せい剤取締法違反で検挙された中に数は少ないですが、中学生（平成23年に4人）、高校生（平成23年度に25人）があることからも、薬物乱用が大変身近なところにあることが分かります。

10代半ばから後半の思春期は、家族や友人との人間関係などの難しい問題を抱えがちな時期です。こうした時に、薬物乱用への甘い誘いがあるとつい乗ってしまう危険があります。甘い誘いには十分注意しましょう。

### 各依存性薬物の開始年齢



嶋根卓也、三砂ちづる：青少年と薬物乱用・依存（保健医療科学。54 (2) 119-126、2005）

## 甘い誘いには要注意

最近では覚醒剤は注射よりも手軽に使用でき、注射の痕跡を残さない、あぶって吸う方法が広まっています。また大麻はたいした害がないとか、他国では合法のところがあるなどと、誤った情報が分布されています。このように薬物乱用への甘い誘いを受けやすい状況が生まれています。

### 薬物乱用への甘い誘い

- 1回だけなら平気さ
- クスリでちょっと遊ぼうよ
- 面白いクスリがあるんだけど
- やせられるよ
- みんなやってるよ  
(やってないのはきみだけ)
- 人生は経験だ
- ねむけ  
眠気がとれて、勉強ができるよ
- ちょっとだけ、ためしてみない
- イライラがとれてすっきりするよ
- ただの栄養剤だよ
- 最高の気分が味わえるよ
- とりあえず、預かってよ
- お金はこの次でいいよ

